



法人の理念

キリスト教の愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護り、その人格の尊厳を尊重します。

《今月のねらい》 <テーマ> **響き合う**

ぶどうぐみ

◎身の周りのことに興味をもち、自分でやってみようとする。

◎保育者やお友だちと一緒に興味のある遊びを楽しむ。

はとぐみ

◎友だちと関わり合いながら、一緒にあそぶ事を楽しむ。

◎日常の出来事や自分の思いなどを身振りや言葉で伝えようとする。

ひつじぐみ

◎簡単なきまりのある遊びを友だちと一緒に楽しむ。

◎お箸に興味をもって楽しく食事をする。

ゆりぐみ

◎冬の気候を楽しみながら、戸外で思いきり身体を動かして遊ぶ。

◎発表会を楽しみにしながら、緊張感や達成感を感じる。

ばらぐみ

◎ルールのある遊びを通して、友だちとの関わりを深める。

◎イメージを膨らませながら、いろいろな表現遊びを楽しむ。

◎うがい手洗いの習慣が身に付き、進んでする。

ほしぐみ

◎就学に向けての期待や不安を受け止めてもらい、安心して過ごす。

◎友だちと協力し、創意工夫をする中で、一緒に行動する充実感を味わう。



2025年2月

園だより



旭丘まぶね保育園

電話 976-1912

976-0001

FAX 975-3636

E-mail: asahi-hoikuen@koinonia.or.jp

http://www.mabune.com/index.html

♪今月の歌♪

神さまにかんしゃ(賛歌)

雪のペンキやさん(童謡)

雪のこぼろず(童謡)



【今月の聖書の言葉】

「私は弱い時にこそ強いからです」

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章10節)

子どもたちの成長を改めて振り返ってみると、わずか数カ月の間に新しくできるようになったことが多くあることに気付きます。もちろん、その量や早さは人それぞれですが、どの子もみん着実に心身ともに大きくなってきています。はじめは一人で寝返りを打つこと、立つこと、歩くことから始まって、やがておしゃべりをしたり、お友だちと一緒に遊んだりより難しいことへと変化して行きます。それらはどれも一回ですぐにできるようになるわけではなく、失敗を何度も繰り返しながら学習して身につけていくものです。ご家庭でも園でも「もう一度やってみようね」と励まし続けることを通して、成功できるようになるのだと思います。

今月の言葉「弱い時にこそ強い」は、一見矛盾しているようですが、原語では「弱い時にこそ力がある」であり、その力とは自分の力ではなく、全ての命を根底で支えて下さっている神様の力だと言われています。自分の力では何度やっても失敗続きで、たとえ諦めそうになっている時でも、「もう一度やってみようよ」と隣にいる人から励まされたら、もう一度挑戦できることがあります。そんな時、そこに神様の力も働いているのだと思います。自分の力ではどうしようもないと思っても、いつでも神様が一緒にいてくださる。そして周囲の方たちの手を通して、手伝ってくださる。だから大丈夫。子どもも大人もつまづくことがあっても大丈夫。神様はみんなのことをいつも支えて下さっています。

(チャプレン 牛田 匡)

意見箱も置いています

苦情解決委員会

苦情解決担当者 柳内 美帆子 入江 あゆみ

苦情解決責任者 有蘭 律子

第三者委員 畑 健次郎 花岡 尚樹 酒井 咲子

お誕生日おめでとう

こどもたちはひんやりとした空気を肌で感じたり、白い息を吐いたり、小さい体で季節を感じながら過ごしています。お部屋では、発表会に向けて各クラスとも楽しみながら取り組んでいます。今年度もあと2カ月になり、卒園・進級も近づいてきました。みんなで元気に春を迎えられるよう一日一日を大切に過ごしたいと思います。



2月の行事・特別プログラム

	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3 体操教室	4 こどもの礼拝 日舞(ほし)	5 お誕生会 集金日	6	7 英語であそぼう	8
	9	10 体操教室	11 国民の休日	12	13	14	15 発表会
	16	17	18 音楽教室 サッカー大会 (ほし)	19 スイミング (ばら・ほし)	20 キッドピクス 乳児検診	21 英語であそぼう	22
	23 国民の休日	24	25 こどもの礼拝 剣道・日舞 (ばら)	26 スイミング (ばら・ほし) お作法	27 キッドピクス	28	

※ 3/8(土)→卒園式(ばらぐみ以下家庭保育協力日)

幼児期から 気を付けたい 体に負担をかける姿勢の癖



片手または両手でほおづえをつく。



ひざの上にあごを乗せる。



寝転がって絵本を読んだりゲームをしたりする。

日頃やってしまいがちな姿勢の癖が、体に影響を及ぼすことがあります。体に負担をかける姿勢の癖を知って、咲けるようにしましょう。